※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（機械系列）

教科	工業	科目	機械実習ｂ（機械実習）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	学校作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工作機械の中でも多く使われている旋盤を使っての実習である。旋盤各部の名称を確認し、正常な運転状態を理解する。段付き丸棒とリングナットを製作することにより、旋盤の基本的作業及び作品の基礎的な測定方法を修得するとともに、安全作業も身に付ける。

2　学習の到達目標

旋盤各部の名称、役割を確認すること。バイトや工作物の取りつけを正しくでき、安全に配慮しながら旋盤操作の基本ができるようにする。作品の寸法を決められた寸法どおり加工して、ノギスを使い正確に測定することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業（機械）の基礎的な知識と基本的な技術を修得し、工業の意義や役割を理解している。また、グループでの協調性を身に付けて自分の意見や考察ができている。	目的を理解し、達成するために適切な手段を講じ、解決を目指す。また結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。	自主的･継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期		1. オリエンテーション テーマの説明と班分け 2. 旋盤加工 段付き丸棒の製作 リングナットの製作 3. 寸法測定(仕上げ)	a: 工業（機械）の基礎的な知識と技術を修得し、工業の意義や役割を理解している。また、グループでの協調性を身に付けて自分の意見や考察ができている。 b: 目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決を目指す。また、結果をまとめ、その結果を的確に表現できる。 c: 自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を身に付ける。	学習状況の観察 総合的な理解度 提出作品の評価	学習状況の観察 総合的な理解度	学習状況の観察 総合的な理解度 学習意欲

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度